

会員メリットを追求

建コン協九州支部が定時総会

建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）の2024年定時総会が23日、オリエンタルホテル福岡であり、建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備や、技術力と品質の確保・向上の促進など今年度の事業運営方針を申し合わせた。

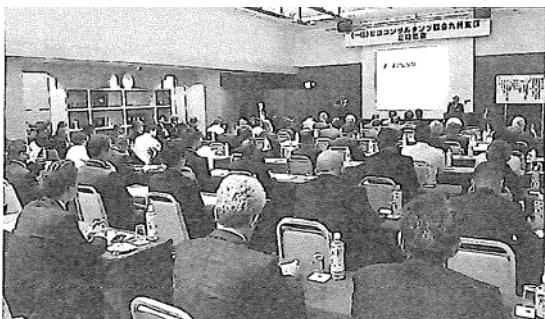
は、インフラDXについて「中小全ての業者に対する応が求められる。歩掛り経費の改定などを本部とともに強く訴えていく」ともに「貢上げと担い手育成、確保の好循環では「貢上げには原資が必要で、個人的には最低限価格を工事と同じ90%程度まであげないと経営できないと考えている」と述べ、引

の委員会の在り方を検討するWGの設置などを開する。一部役員改選もあり、会社都合による交代として、副支部長に東野修幸・西日本技術開発執行役員営業部長が就任した。会員数は、支会社51

イグランドプランニング
(福岡市)、アルファ(北九州市)
大和コンサル(タクシードラム市)
留米市)が入会した。本社は
会社の所在地別の内訳は、福岡44社、佐賀6社、
長崎2社、熊本11社、大分20社、宮崎14社、鹿児島9社、沖縄1社。

木遺産な旅」、SDGs 探求活動として「2050 年の九州の街づくりを想像する」と題した出前授業、(吉井) 大三三行は、

社、本社会社1107社の
計158社となり、全国
支部で関東と並び最多。
新たにシーサス・プラ



24年度運営方針
の柱5項目は前年
度と同じ。5月17
日に福岡でインフ
ラ整備70年記念講
演会を開催するほ
か、土木を生業に
してもらつたための
広報イベントとして
九州大学3年生
を対象とした「十